

ご長寿おめでとうございます

## 高橋カネさんが満100歳に

2月4日に満100歳の誕生日を迎えられた高橋カネさん(上籴田)のもとを松田町長が訪れ、長寿祝い金を贈呈しました。「ご自宅でお元気に100歳を迎えられることは、本当に素晴らしいことです。おめでとうございます」と松田町長が声を掛けると、高橋さんは「ありがとうございます」と満面の笑顔で答えられました。

高橋さんは多才な方で、和裁、日本舞踊、茶道、華道を若いころから長い間多くの人に教えていました。現在も趣味が多く、短歌、編み物、大正琴を楽しんでいます。食事は、腹八分目を心掛けているようで、肉類が苦手は一切食べませんが、魚、野菜、果物は好きとのこと。長生きの秘訣は、規則正しい生活と毎日の晩酌(ミニビール1本)とおっしゃっていました。これからも元気で過ごしてください。



### JAL×美郷連携事業

## JAL空育®-折り紙ヒコーキ教室-

「JAL空育®-折り紙ヒコーキ教室-」が1月23日に美郷町宿泊交流館ワクアスのアリーナで開催され、町内各こども園の5歳児合わせて80名が参加しました。教室では、折り紙ヒコーキ認定指導員の資格をもつJALの社員が折り方や飛ばし方を教えました。紙ヒコーキを完成させた園児たちは、ボードの穴に飛ばして入れるゲームや、友だちとどちらが遠くまで飛ぶかを競うなど、目を輝かせながら紙ヒコーキを飛ばしていました。



### 販路拡大のコツを伝授

## インターネット販売活用オンラインセミナー

ヤマト運輸株式会社との連携事業の一環として「インターネット販売活用オンラインセミナー」が、1月30日に美郷町役場で開催され、町内事業者など14名が参加しました。セミナーには、株式会社メルカリ兼株式会社ソウゾウの政策企画チームのマネージャーである布施健太郎氏が講師に招かれました。布施氏は、インターネットショップ開設の課題や販路拡大に取り組む事業者の事例、売れる工夫などについて話しました。セミナー終了後は多くの質問があがり、活発な意見交換が行われました。



### 地域住民と交流

## JAL×美郷町ウィンターキャンプ

地域との相互交流を通じた地域活性化を目的とした「JAL×美郷町ウィンターキャンプ」が、2月11日から12日にかけて行われ、JALの社員16名が参加しました。

今回のキャンプでは、一人暮らしをされている高齢者宅の除雪ボランティアや、スノーシューを履いて仏沢ため池周辺の散策をしたアクティビティ体験を通して地域住民と交流しました。



MISATOPICS

# 町の話





## タイ王国ノンタブリー県第一初等教育局と教育交流協定を締結

タイ王国ノンタブリー県第一初等教育局との教育交流協定締結式が、1月17日に美郷町役場で行われました。福田教育長とタイ王国ノンタブリー県第一初等教育局のパナタット・センウィセット局長が協定書に署名し、松田町長が立会人署名をしました。翌日の18日から19日にかけては町内小中学校の授業の視察や餅つき体験、天筆書き体験などを行いました。



COLUMN  
WINDS

コラム

風

美郷町長  
松田知己

### 春へのスイッチ

「冬来りなば春遠からじ」。イギリスの詩人シェリーの「西風の賦」の一節です。私は例年、朝の雪寄せ作業が本格化する12月頃からこの一節を思い起こし、気の進まない作業や日頃の寒さに向き合いますが、ようやく春の足音が聞こえる三月に入りました。まさに「春遠からじ」の月です。これから徐々に日射角度は高くなり、それに応じて気温も上昇、呼応して木々の芽は膨らみ方が加速していくわけですが、雪解けに併せて森羅万象が春に向かう変化を把握し、風情として楽しみたいものです。

さて、こうした春に向けたうごめき、私たちの普通の生活の中でも当然あります。4月の新学期開始に向けた準備、具体的には進級や入学、入社や転勤による転居などがある方は、その準備で慌ただしさが伴う月です。これも3月独特の風情として楽しみつ、春が持つ高揚感とともに、準備に勤しんでいただきたいと思えます。

他方、自然を相手に業を営む農業も、いよいよ令和5年営農の計画を見通す月となります。農業については、最近の物価高なことから食料安全保障の国民意識が向上し、併せて国内農産物に対する消費者意識も高まってきておりますので、まさに今が踏ん張りどころです。

しかし、農業生産においても物価高による影響は避けられませ

ん。まずは営農開始に必要な肥料の価格が高騰しています。ものによっては2倍近くとの声も聞きます。そのため、営農継続に支援策が必要とし、国では一定の要件のもと、価格上昇分の7割を支援することとしております。町でも農業者のやる気向上に資するよう、国の支援にさらに2割5分を嵩上げる制度を既に準備しているところです。農業者にはこうした国、町の支援策を承知していただき、営農意欲を萎ませずに令和5年営農をがんばっていただきたいと思えます。なお、支援に係る国の基準は間もなく提示される予定です。

すべての分野に共通ですが、やる気スイッチは自ら入れるしかありません。仕事であれ遊びであれ、春らしい高揚感でやる気スイッチ、みなさんで入れていきましょう。



▲竹うち終了後に餅まきをする松田町長